



Title	方法論的序章 : 日本近代都市独立住宅様式の成立に関する史的研究 1
Author(s)	木村, 徳国; Kimura, Norikuni
Description	正誤表あり
Citation	北海道大學工學部研究報告, 19, 255-285
Issue Date	1958-08-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/40636
Type	departmental bulletin paper
File Information	19_seigo.pdf



「方法論的序章」 正 誤 表

木 村 徳 国

拙稿「方法論的序章」(北大工学部研究報告, No. 19, 昭和33年7月)は、筆者の事情により校正をなし得ず、下記のようなミスプリントを含んでおります。恐縮ながら御訂正下さるよう御願いたします。

正 誤 表

頁	行	誤	正
1	7	・aufsatz	・Aufsatz
1	8	Wohndungsstils	Wohnungsstils
2	9	相重ねると云う	相重ねて云う
2	31	第二次大戦以後	第二次大戦以前
5	33	ハーフティンバ	ハーフティンバー
9	23	扱えれるので	扱えられるので
9	3)	軽い意味だけ採用	軽い意味だけで採用
10	7	建築様式的住宅史に	建築様式史的住宅史に
10	27	変調過渡期に於ける	変調過渡期に於ける
11	31	弁証法唯物論	弁証法的唯物論
12	5	未厠有の	未曾有の
12	23	(建築史研究 No. 26 参照)	全部トル
15	10	理解が進めることが	理解で進めることが
15	21	一般の歴史と並んで	一般の歴史学と並んで
15	22	参与させるものではなくては	参与させるものでなくては
15	26	住宅様式の諸相	住宅様式概念の諸相
19	1	として得ているので	とし得ているので
21	15	存来和風で	在来和風で
21	15	同時に出るのである	同時に見出すのである
21	18	統一体として住宅の位置	統一体としての住宅の位置
22	22	形づくるものであるが	形づくるのであるが
22	31	おいたに過ぎず	おいてに過ぎず
23	12	計画学的なものに	計画学的なものは
24	18	各段階をの	各段階の
24	20	側面的な形の	側面的な形式の
24	27	存在しなかつた	存在しかつ
25	7	内存する	内在する
25	20	史料についても	史料について
26	12	機能と・・・は	機能と様式とは
28	グラフ-1	住宅帳数別規模分布図	住宅帖数別規模分布図
28	グラフ-2	住宅所有別帳数	住宅所有別帖数
30	1	住宅様式史的	住宅様式史的
30	8	昭和33年	昭和32年